ウチの

自慢の逸品お見せします

1 カネモ長内呉服店

明治時代、荒物屋として創業したお店。現在は呉服から婦人服、寝具まで揃えています。5代目店主が趣味で集めた蓄音機は3台。なかでも、屋外で聞くために作られたポータブル蓄音機は、ゼンマイ仕掛けのレトロな音が魅力です。暖かくなったら店先に飾られる予定です。

店主／長内孝臣さん
金木というところは、太宰の小説そのままの街。ちょっと気取ったところがあるんです。店に私がいたら、懐かしい音をお聞かせしますよ。

■五所川原市金木町朝日山459
■TEL／0173-52-2016
■営業時間／8:30～18:00
■休業日／第3日曜

2 オサナイ洋品

大正13年創業の洋品店。ショーウインドーには、ご主人が昭和21年、当時の雲祥寺住職から習い、今も趣味で作り続けている俳句を展示しています。「凍天にきっと仰ぐや太宰遺居」など太宰のことを詠んだものもあり、季節ごとに楽しめるようになっています。

長内艸骨さん
金木は恥ずかしがり屋の多いところ。私は金木文化会で、羽織の紐をいじくりながら、恥ずかしそうに挨拶する太宰の挨拶を聞いていました。

■五所川原市金木町朝日山242
■TEL／0173-52-2210
■営業時間／9:00～18:00
■休業日／第3日曜

3 角田靴・スポーツ店

江戸時代この地で造り酒屋をはじめ、10代目から薬屋、12代から靴屋となったお店。往時の酒樽や、屏風、明治時代の米の値段表などお宝がいっぱい。店頭には「一文銭が8つ並ぶから8文」と、江戸時代の足袋のサイズのはかり方を紹介しているほか、白木の下駄に斜陽館の焼印を押した下駄も販売しています。

店主／角田省逸さん
金木を訪れたなら、斜陽館、津軽三味線会館だけでなく、街を回遊して欲しいと思います。きっと思わぬ発見がありますよ。

■五所川原市金木町朝日山429
■TEL／0173-52-2228
■営業時間／4月～12月6:30～20:00、1月～ 3月6:30～19:30
■休業日／なし

4 太田木工所

明治時代、斜陽館の左隣で米屋を営んでいたお店は、戦後木工所になりました。店頭には大正7年当時の「金木村俯瞰図」や、明治時代のアイロン、分銅ばかり、蔵の鍵、屋号の入った焼印、刻印、一斗升など、懐かしい品々が飾られています。

店主／太田勝久さん
店頭には手かんなで仕上げたヒバ製品を展示し、ヒバのカンナクズを無料で差し上げています。楽天市場の「青森ヒバクラフト」見てくださ～い！

■五所川原市金木町朝日山317-6
■TEL／0173-52-2538
■営業時間／8:00～18:00
■休業日／日曜、祝日 ※平日不在時あり。

5 大橋薬店

明治末期に呉服屋を営み、小間物屋を経て昭和9年から薬店に。蔵には「薬種商」「計量器販売所」の許可証的看板や、「大橋薬舗」、「首より上の薬」など商品名が記された金看板があります。大正7年当時の「金木村俯瞰図」（太宰10歳の頃）とともに、その一部を店内に展示しています。

店主／大橋圭造さん
金看板に書かれた「首より上の薬」は、今も売られている薬です。ここに来て金看板を見て、太宰が過ごした時代の雰囲気を少しでも感じてもらえればと思います。

■五所川原市金木町朝日山467-4
■TEL／0173-53-2050
■営業時間／7:00～20:00
■休業日／なし

6 外崎菓子店 芦野屋

銘菓「太宰最中」で知られる創業60年の老舗菓子店には、店内に〝ねぶたの見送り絵〟が飾られています。見送り絵とは、ねぶたの進行方向とは逆に描かれる絵柄のこと。展示されている見送り絵は艶やかな女性をモチーフにしたもので、この絵の前で記念撮影をするお客さんが多いそうです。

■五所川原市
金木町朝日山197
■TEL／0173-52-2243
■営業時間／8:00～18:00（夏は19:00まで営業）
■休業日／なし